

文教厚生 委員会 レポート 総務建設産業

道路改良 1,600万円

須恵 川内～熊本線
道路改良工事
平成十六年四月から、上須恵郵便局から須恵～井尻線までが、朝夕車両進入禁止となっており、本路線を通過コースとして利用されています。
この路線は、生活道はもとより、通学路にも指定されており、児童の通学にも支障をきたしています。
農業用水路を改良することにより、歩道を整備し歩行者の安全を確保するものです。
昨年度よりの継続で、今年度が最終事業です。
工事長二三五メートル、排水工・擁壁工・塗装工・交通安全施設等を予定しています。
事業費は、一千六百万円で一般財源を充てています。



破損した（写真右側）新屋敷堰

ため池改修 1,500万円

須恵
新屋敷ため池改修工事
老朽化に伴い、ため池の堤体改修を行うものです。
工事長七二・五メートル、グラウト工、工用仮設道路工等で事業費は一千五百万円で、県補助金七百二十五万円、一般財源七百二十五万円です。

堰（いせき）改修 1,800万円

旅石
新屋敷堰改修工事
昭和四十五年、農業用水取水を目的として設置された堰で台風五号（十九年八月五日）により河川増水により、堰の固定部六箇所のうち五箇所において破損し堰のねじれが生じ、起伏・転倒の操作が正常に作動しない状態となっています。



現地を確認する議員団（川内～熊本線）

受託事業 2億3,000万円

今後の台風・大雨により二次災害等を引き起こすことが懸念されるので緊急に改修工事を行うものです。
事業費は一千八百万円で、一般財源により施工します。
植木 内原～大谷線
道路改良工事
本工事は、クリーンパークわかすぎへのアクセス道路として歩行者の安全および交通の円滑化を図るために整備を行なっているもので、今回の施工については、十九～二十年度の継続事業として工事長一八六メートル、擁壁工・排水工・仮設工・舗装工等の工事を予定しています。
事業費は、二億三千七百万円で財源は、清掃施設組合の受託事業です。
（全員賛成で可決）

武道場改修 1,300万円

現在の須恵町立武道場は、昭和四十九年三月に開場し今年で三十二年目を迎えます。
当時は、糟屋郡内でも初の武道専用道場として各町から注目される施設でした。
それまでの柔道・剣道の練習会場という、現



劣化が激しい町立武道場

在のボランティアセンターがある旧須恵第一小学校の講堂（健康会館）を利用して行なわれていました。
昭和四十二年、当時の指導者の熱意により小中学生を中心に「須恵剣友会」が結成されると部員数も年々増加し、武道普及のための専用道場という声が上がります。昭和四十八年に総工費一千七



レストラン「ゆずのき」

知的障害者福祉工場を視察

百七万円、面積三三〇・五平方メートルの町立武道場の建設工事に着手しました。
昭和四十九年三月竣工後は、主に剣道場として使用され中学校の部活動や剣友会、一般の剣道愛好家の道場として連日利用され、現在ではそういった武道のほかにもダンスや体操教室等の利用もあっています。
築二十年を迎え、平成六年度と平成十一年度に

一部増改築工事と屋根の塗装工事を行いました。あまりにも劣化がひどく再度、改修することになりました。
工事内容としては、錆等での腐食が激しい屋根工事・外壁の塗装・鋼製建具の一部改修・撤去とあわせて鳩の糞被害対策工事を予定しています。
事業費は、一般財源一千三百万円です。
（全員賛成で可決）

知的障害者福祉施設「レストランゆずのき」へ視察に行きました。
障害者の方々の「居場所」をつくりたいという思いで、「柚子の木福祉会」がレストランをオープン。障害者の方々の食事を切る姿・食器を洗う姿・フライパンで調理する姿等が外から一目で見渡せるオープンキッチンに設計されており、店内も車イスが通れるよう広いスペースが確保されています。
「ゆずのき」には、現在三十人の障害者の方々が働いておられます。
一人の方が「皆で支えあい、仲間がいるということに頑張ることができると話してくれました。社会参加を促す施策が相次いで示されています。が現状は厳しく、自信を持って働いている一人一人の姿を見てみると、居場所の大切さを痛感しました。